

平成29年12月21日
於
府中市立教育センター

平成29年第12回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成29年第12回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成29年12月21日(木)
午後3時00分
閉 会 平成29年12月21日(木)
午後3時32分
- 2 議事録署名員
教育長 浅 沼 昭 夫
委 員 那 須 雅 美
- 3 出席者
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 那 須 雅 美
委 員 松 田 努
- 4 欠席者
なし
- 5 出席説明員
教育部長 関 根 昌 一 文化スポーツ部長 五味田 公 子
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 沼 尻 章
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化生涯学習課長 古 田 実
教育総務課長 志 摩 雄 作 美術館副館長 須 恵 正 之
教育総務課長補佐 遠 藤 公巳明 美術館副館長補佐 志 賀 秀 孝
学校施設課長 山 田 英 紀
学校施設課長補佐 藤 原 英 行
給食センター所長 時 田 浩 一
給食センター整備担当主幹 大 井 孝 夫
指導室長補佐 鈴 木 正 憲
学校教育指導担当主幹 日 野 正 宏
統括指導主事 田 村 貴代美
指導主事 棗 まゆみ
指導主事 三 好 紀 子
- 6 教育委員会事務局出席者
教育総務課係長 鈴 木 紘 美
教育総務課事務職員 松 本 万衣子

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第45号議案

市長の権限に属する事務の一部移管について

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 平成29年度セカンドスクール実施結果について
- (3) 企画展「絵画の現在」の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成29年第12回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか那須委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

本日は追加議案が1件ございます。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。
（「異議なし」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第45号議案 市長の権限に属する事務の一部移管について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第45号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○給食センター所長（時田浩一君） それでは、第45号議案「市長の権限に属する事務の一部移管について」につきましてご説明いたします。

議案書の1ページをお開きください。初めに1の「趣旨」でございますが、府中市学校給食費の徴収に関する条例の制定に伴い、その施行にあわせて導入する学校給食の申込制度に関する事務や、これまで府中市学校給食会が行っていた学校給食に関する事務は市長が処理することとなりますが、事務処理の効率化を図るため、市長から事務移管を受け、教育委員会において処理するものでございます。

次に2の「事務移管の内容」でございますが、教育委員会事務局の職員に対して次の表の左の欄の対象事務の区分に応じ、同表の右の欄に掲げる方法により事務移管することとします。

まず、地方自治法第180条の2の規定に基づく委任事務として取り扱うものとしまして、
1 保護者との学校給食の提供に係る契約に関すること。2 府中市学校給食費の徴収に関する条例（以下「条例」という。）第2条に規定する学校給食費の徴収及び学校給食費の額の決定に関すること。3 条例第3条に規定する学校給食費の滞納者に対する措置に関すること。4 条例第4条に規定する学校給食費徴収権等の放棄に関すること。

また、地方自治法第180条の2の規定に基づく補助執行事務として取り扱うものとしまして、
5 学校給食に係る予算見積書の作成に関すること。6 学校給食に係る収入の調定に関すること。7 学校給食に係る配当を受けた予算の支出負担行為及び支出命令に関する

こと。8 学校給食に係る過納金又は誤納金の戻出に関すること。9 学校給食に係る契約（1の契約を除く。）に関することとしております。

次に3の「移管時期」でございますが、平成30年4月1日としております。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。この件につきましてご質問ございますか。

崎山委員、お願いします。

○委員（崎山 弘君） 今、説明があった事務移管の内容の「教育委員会事務局の職員に対して」と書いてありますが、事務局の職員というものに含まれる範囲として、例えば学校にいる非事務の方はこれに含まれるのでしょうか。つまり学校にいる教職員、校長・副校長・教員はこれに含まれるのでしょうか。

○給食センター所長（時田浩一君） 今回の議案につきましては、給食費の徴収に係る部分の議案でございます。今まで学校給食会が行っていた事務についての公会計化に伴う事務の振分けということで記載をしております。なお、委任事務につきましては、教育委員会の事務として行うもの、それから補助執行事務につきましては市長名で行うものという区分けでございますが、いずれにしましても今まで府中市学校給食会が行っていた事務という部分で振り分けているものでございます。

○委員（崎山 弘君） 職員の範囲はどこでしょうかということです。

○給食センター所長（時田浩一君） 記載しております教育委員会事務局の職員の範囲でございますが、学校も含めまして教育委員会に所属する職員ということでございます。

○委員（崎山 弘君） ということは、この条例があるということは、ある意味、逆に言えば学校の先生は、教員・校長・副校長はこの職員に含まれないのであるならば、この条例の中に我々は関与しませんということを主張されても、それはそれでよいということになるのでしょうか。

○給食センター所長（時田浩一君） 教職員も含めまして教育委員会の職員でございますけれども、給食の事務の取り扱いの部分につきましては、教育委員会、私ども学務保健課が所管課になりまして徴収をするものでございます。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） 補足ですけれども、校長・副校長などが今まで自校式では学校管理で徴収していたのですが、それも今、センター方式になっていますので、学校給食会がやっております。崎山委員がおっしゃったように、「今後は校長・副校長はかかわらなくていいのですか。」ということになると、そういうふうにもとられるのですが、やはり給食費ということで食育とか教育にもかかわってきますので、校長・副校長にも協力していただく部分というのは、今後もあるかと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

○委員（崎山 弘君） 実務的には今までやっていらっしゃったことを形の上でこうだったのだよねというのを確認するぐらいの意味合いと私は捉えているのですが、そんな認識でいてよろしいでしょうか。つまり、これをやることによって新たにその専門職の人が発生するとかそういうことはなく、今までやっていたことがこういう形態だったのだということを条例の上ではっきりさせたという認識でよろしいでしょうか。

○給食センター所長（時田浩一君） 今までにおきましても学校給食会という名のもとに市の職員が学校給食費の徴収ですとか、あるいは食材の購入事務を行っておりました。公会計化後につきましても、基本的な事務の流れは全く同じでございまして、変更はございません。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りします。第45号議案「市長の権限に属する事務の一部移管について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第4、報告・連絡ですけれども、報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは、資料1の「寄附の採納及び感謝状の贈呈について」をご報告いたします。今回は2件でございます。いずれも学校教育の振興に寄与するために寄附されたものでございます。

1件目の寄附の採納先は、府中市立府中第二小学校でございます。

寄附品は、レクチャーアンプ1台15万8,000円、テント1張17万5,694円、優勝旗・準優勝盾1セット22万円。

寄附者は、創立70周年実行委員会委員長田中仁志様。受領日は平成29年11月2日でございます。

2件目の寄附の採納先は、府中市立府中第六小学校でございます。

寄附品は、イベントテント1張21万1,140円。

寄附者は、府中市立府中第六小学校PTAおやじの会。受領日は平成29年11月13日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めるときは感謝状を贈呈できることとなっており、取扱上10万円相当額以上の寄附を対象としておりますが、今回ご報告の案件のうち、1件目につきましては、寄附者が感謝状受領について辞退のご意向を示しておりますので、贈呈しないことといたします。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承といたします。



◎平成29年度セカンドスクール実施結果について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（2）を学務保健課、お願いします。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） それでは、資料2に基づき、平成29年度セカンドスクール実施結果につきましてご報告いたします。

セカンドスクールは5月15日から10月27日の間に実施いたしました。今年度も各小学校において八ヶ岳府中山荘を宿泊地として体験プログラムなどに4泊5日で取り組み、大きな事故もなく全行程を終了することができました。

裏面をご覧ください。今年度の参加状況ですが、参加人数は途中参加を含め2,204人で、在籍数2,213人に対しまして参加率は99.6%でした。参加できなかった児童は9人で、理由といたしましては家庭の都合が7人、腕のけがが1人、インターナショナルスクールが1人となっております。また、途中参加が8人と途中帰校が4人おりましたが、保護者に現地への送り迎えをしていただきました。

続きまして、3枚目の学校別医療機関受診状況ですが、前期が4件、後期が5件の合計9件で、受診理由は咽頭痛が3件、頭痛を含む体調不良が2件、発熱が1件、骨折が1件、ねんざが1件、まぶたの腫れが1件となっております。また、今年度につきましても崎山委員を始めとする市内の医師2名に無償でご協力いただき、無料相談ホットラインを開設いたしております。

なお、保健室の利用状況でございますけれども、利用延べ人数が727人、利用実人数が522人となっており、参加人数に対する利用実人数の割合は24%でございました。

最後に、平成28年、29年度の2か年でセカンドスクール検証検討委員会を設置して、セカンドスクールの成果や課題を検証するとともに、義務教育9年間における宿泊体験等のあり方についても検討しておりますが、来年1月の教育委員会でご報告できればと考えております。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（那須雅美君） 医療機関を受診した児童の中に骨折が1件あったとの報告があったと思うのですが、その状況を教えていただけますでしょうか。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） 詳しい状況は把握しておりませんが、そんなに大きな事故ではなかったと思っております。

○委員（那須雅美君） 何か管理する上での落ち度があったとか、そういうものではないということで理解してよろしいでしょうか。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） そうですね。施設の不備とかそういうことではありません。

○委員（崎山 弘君） 今年この医療機関を受診した9名の中で救急車を利用したケースはあったでしょうか。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） 救急車の利用はなかったと聞いております。我々でセカンドスクール用に市の車を配置しておりますが、それによる通院ということになります。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 例えば以前ありましたダニに食われたような、または1つの学校だけでなく幾つの学校でもあったとか、それから原因はよくわかりませんが、下痢症状のようなことがあったとか、そういう目立った事例というのは、今回はこの報告の内容だけで見ればなかったように思うのですが、その辺はいかがだったのでしょうか。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） ダニ等の被害の報告はありません。また主立った大きな事故はなかったのですが、部屋の清掃が行き届かないということがありましたので、業者へ指導することはありました。基本的にはそれほど大きな事故もなく無事に終了し

たと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） いかがでしょうか、ほかに、よろしいですか。

それでは、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎企画展「絵画の現在」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）を美術館、お願いします。

○美術館副館長（須恵正之君） それでは、美術館から次回の企画展「絵画の現在」展の開催について、お手元の資料3のチラシに基づきご報告いたします。

開催期間は平成30年1月13日土曜日から2月25日日曜日まででございます。

裏面をご覧ください。府中市美術館は2000年秋の開館以来、展覧会や公開制作プログラムを通して現在の絵画を積極的に紹介してきました。その成果の継承・発展を目的に絵画の「いま」を今井俊介、木村彩子+近藤恵介、近藤亜樹、白井美穂、諏訪未知、津上みゆき、福士朋子という個性豊かな7名プラス1名の作品に探る展覧会です。会場には、風景に人物、抽象表現に立体が少し、小ぶりのスケッチから体を包み込むような大画面まで、形式も大きさも実に多様な絵画が並びます。

観覧料等は記載のとおりでございます。会期中の土日には、作家によるアーティストトークや上映会、ワークショップなどを開催します。なお、会期中の水曜日の午前10時から午後1時まで、小さなお子様連れが気兼ねなく鑑賞できる時間「キッズアワー」を設定いたします。また、常設展示室は「アトリエと美術館」を開催いたします。ぜひご覧いただきたくご案内申し上げます。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（3）について了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですけれども、何かございますか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況につきましては、別紙の平成29年第12回教育委員会定例会、教育委員会活動報告書のとおりでございます。この報告書は平成29年11月11日から平成29年12月15日までの活動内容となっております。

私からは2件、報告したいと思います。

まず初めに、12月3日に第22回となります府中市小・中学生の人権作文発表会を参観しました。応募総数でございますけれども、小学生が8,110編、中学生が3,706編の中から選ばれて、小学生12名、中学生12名がそれぞれ発表いたしました。

発表前なのですけれども、記念の写真撮影がありましたが、幾分緊張ぎみな小・中学生と対照的に保護者やご家族の方々が喜びの表情で写真を撮っておられました。

今回の発表会で印象深かったことは、人権尊重への知識・理解だけでなく、学んだ知識を自分の日常の体験に照らし合わせて力強く意見や考えを述べていたことです。また、今回、全国中学生人権作文コンテスト東京大会でございますけれども、本市から優秀賞が2名、奨励賞が2名選ばれたことも特筆すべきことだと思います。全都で35名という人数ですので、まさにこれは快挙と言えると思います。これも長く続けていただいている発表会、そして各学校の先生方のご協力やご指導、さらには大変お忙しい中、実行委員会の方々が作品を全て読み込んで選考していただいて、推薦していただいたおかげであると感謝しております。

それから、発表会で司会をしていただいた府中十中の生徒さん、それから合唱や演奏をしていただいた府中七小の皆さんも立派な進行と演奏内容でございました。ご指導いただいた先生方にもお礼を申しあげたいと思います。

2件目です。12月7日、府中の森芸術劇場で開催されましたオーケストラ鑑賞教室を參觀しました。午前・午後に分かれて小学校4年生が鑑賞するものです。前回の東京オリンピックを記念して、翌年の1965年に東京都が設立した東京都交響楽団の演奏を、フリーアナウンサーの朝岡聡さんが、楽器や演奏曲目を軽妙かつ楽しく解説する中で進められました。児童にとっては音楽の時間などで習った楽器の音色を、一流オーケストラの演奏を生で、しかも友達と一緒に聞く貴重な体験になったと思います。進行につきましても大変整然として進められましたので、校長先生始め引率の先生方、そして運営に当たっていただいた府教研音楽部会の先生方に感謝したいと思います。

以上であります。

◇

◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については別紙のとおりでございます。

まず、崎山委員、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） まず、崎山から報告いたします。教育委員としての活動は表に示したとおりですが、それ以外の活動について2件報告します。

12月8日金曜日14時よりル・シーニュのバルトホールで行われた保護司会などが主催する公開講演会に参加しました。演者は、関東医療少年院の首席教官で臨床心理士の工藤弘人さんで、「医療少年院から見える非行少年等の現状～学校・家庭・地域でできること～」というタイトルで90分ほどのお話でした。少年院に入るに至った子どもたちの背景と、社会復帰に必要な学校・家庭・地域の支援について、実例を交えてとてもわかりやすくお話いただけました。非行の原因を考えると、「なぜこの子は犯罪をしたのだろうか」という視点よりも、「ほかの子はなぜ犯罪をしないのだろうか」という考え方から入るほうが問題解決に役立つということが印象的でした。何人かの校長先生も参加されておられましたが、広く保護者の方々にも聞いていただければと思った次第です。

関東医療少年院では、こういう講演会について協力していただける旨を伺っておりますので、各学校の中でもこのような講演会にお招きしてはいかがでしょうか。経費はかからないと確か言っていたと思います。関東医療少年院は再来年の4月に移転してしまいますので、もしお願いするとしたらあと1年ちょっとしかありませんので、来年度あたり考えている学

校があればよいのかなと思いました。

2点目。本日午前中、市内、武蔵台にあります都立武蔵台学園、以前は武蔵台特別支援学校と呼ばれていた学校ですが、創立50周年式典に参加してまいりました。昭和42年に開校した立川養護学校が平成16年に武蔵台に移転し、通算50周年ということです。

知的障害教育部門と小児総合医療センターに入院している病弱教育部門がある学校ですが、校長先生が式辞で述べていた「1人1人の課題に合わせた指導を行い、身の自立を目指す」という教育方針は、一般の学校でも同じことです。そこに特別の支援が必要な子どもたちが通っているということなのですが、式典に臨席している子どもたちの様子を見ると、1人1人の課題に合わせた指導という、普通の教育の原点、ふだん我々が学校教育で行っている教育の原点のようなものを感じられた式典だと思いました。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは、続いて齋藤委員、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） 私からは11月17日に行われました府中第一中学校の創立70周年記念式典に出席して感じたことと、加えてこの2学期間に行われましたほかの学校の周年式典に出席して感じたことをあわせて申し述べたいと思います。

どの学校の周年式典でも共通に感じましたことは、まず第一に、子どもたちが非常に礼儀正しく、1つ1つの動作がしっかりできていたということです。立ったり、座ったり、歌ったりという1つ1つの動作に、周年式典という大切な儀式に気持ちを集中させてお祝いの気持ちをみんなですべて1つにして取り組んでいるという姿が見てとれまして、とても立派でとても頼もしく感じられた次第でございます。この子どもたちはきっとそれぞれの将来を力強く切り開いていってくれるのだろうな、そうに違いないと思った次第でございます。

第二に、PTAや実行委員会の皆様、そして地域の皆様方のご協力にもすばらしさを改めて感じたということです。道案内から校内での対応までどの学校でも丁寧で、こちらの頭が下がるような思いでありました。そしてまたPTA会長のご挨拶は、それぞれの学校の歴史をよく調べられて、子どもたちの将来の幸せを願う心のこもったお話で、とても感動的でありました。

そして第三には、先生方の動きの良さに感心したことであります。各校とも若い教員が増えている中でありますけれども、役割の分担と連携がとてもうまくいっているという様子がよく見えました。それもこれも一番の責任者である校長先生の学校経営の努力の成果であると思いました。

このように府中市の子どもたち、教員、保護者、PTA、そして地域の皆様による学校の力、学校力というものはとても大きいということをそれぞれの学校の式典に臨んで、強く確信することができた次第でございます。

私のほうからは以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続いて那須委員、お願いいたします。

○委員（那須雅美君） 今回の活動報告期間は、2学期は文化活動の発表の場に多く伺いました。報告書に個別記載はしませんでした。市民芸術文化祭では市民合唱祭や「愛を墓場まで」というタイトルの演劇、大國魂神社での菊花展などに参りました。市民の方々が多

彩な分野で活動を楽しみ、また活動している方々同士が発表を見合い、聞き合うことで刺激を受けて、さらに自分たちの活動の向上を目指しておられる姿に、大変よい刺激をいただきました。そして、年齢を重ねても生きがいを持って笑顔で暮らす大切さを実感いたしました。

幼稚園、小中学校でも展覧会や音楽会など学芸発表会が多く開催され、そのうち数校に伺い、また、小中学校特別支援学級連合学芸会は中学校の部を参観いたしました。舞台発表や展示作品そのものはもちろんすばらしく、中でも連合学芸会のハンドベルの演奏には、えも言われぬ感動を覚えました。また、下級生が上級生の発表に憧れを持ちつつも、将来の自分の姿を思い描きながら真剣に見入っていた姿が印象的でした。

このような学校行事は学力調査のように数値で結果がわかるものではないですが、人間関係や生活経験が豊かになり、活動の中で学んだことを生活や行動に生かす、生きる力を育むために必要な教育だと思います。学習指導要領の改定で教えなければならない教科が増え、先生方も大変かと思いますが、各教科の指導とあわせて今後もしっかりと取り組んでもらいたいと考えます。

別件ですが、給食センターのキャラクターのシールが張られた給食センターのトラックを見かけるようになりました。「給食5レンジャー&らんちーず」によるツイッターも始まって、献立の紹介や調理員さんの姿などが発信されています。児童・生徒によって生み出されたこのキャラクターが広く愛され、このキャラクターをきっかけに子どもたちが食に関してより興味を持ってくれることを願います。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続いて松田委員、お願いいたします。

○委員（松田 努君） 私からは12月13日に朝日サッカー場の視察をさせていただきました。私もラグビー経験者でいろいろなグラウンドや施設を見てきましたので、府中市のためにあら探しをしようと張り切って見させていただいたのですが、結論から言いますと、本当にけちのつけようがないほどすばらしいと感じました。芝に関しましては、まだ使っていないので使ってみないとわからないところがありますけれども、無茶な使い方さえしなければ問題ないと感じました。

以前、ネットの高さについて質問したことがあると思うのですが、想像以上にグラウンドからネットまでの距離があって、あの広さがあれば全然問題ないな、何も心配ないということもわかりました。やはり現場で実物を見てみないといろいろわからないものがあるものだなと改めて思いました。

ラグビーワールドカップのキャンプ地のグラウンド施設としては本当にすばらしいので、キャンプ地にぜひ選ばれてほしいと思います。そして、その後も府中市の子どもたちを中心に利用できる立派なレガシーになってほしいと思います。

私個人的には1つだけ言わせていただけるとしたら、名前です。世界のチームを呼ぼうとするには、グローバルなすばらしい名前に変えられないものかなとちょっと思っています。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、これで平成29年第12回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

◇
午後3時32分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

平成30年1月18日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

那須 雅美